科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
460012	XYY3460012	2	後期	国際学部国際文化学科	×	×	×
				国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
経営数学	白井　健二			情報文化学部情報システム学科経営コース(26 年度以降)	専門	選択	３年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26 年度以降)	専門	選択	３年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25 年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科(24 年度以前)	×	×	×

授業目的

経営学で取り上げられているテーマを対象に経営に必要な数理的考え方を身につけることが目的である。仕事の仕組みをシステム的に考え，データを重視した論理的な判断ができること。経営の基礎は数理的考え方である。数理的考え方を出来るだけ分かり易い授業を心がけたいと考えている。

各回毎の授業内容

第１回
【授】式の展開と因数分解
【前・後】因数分解の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第２回
【授】関数と指数
【前・後】指数の計算を予習・復習合わせて４時間学習すること。

第３回
【授】需要と供給
【前・後】需要と供給の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第４回
【授】需要と供給演習
【前・後】需要と供給の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第５回
【授】売上最大化（２次関数）
【前・後】ラグランジェの未定乗数法の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第６回
【授】利潤最大化
【前・後】利潤最大化のの予習・復習合わせて４時間学習すること。

第７回
【授】生産量と費用の関係（３次関数）
【前・後】微分計算のの予習・復習合わせて４時間学習すること。

第８回
【授】多変数関数の最大・最小（偏微分）⑴
【前・後】偏微分計算のの予習・復習合わせて４時間学習すること。

第９回
【授】多変数関数の最大・最小（偏微分）⑵
【前・後】最大・最小の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１０回
【授】需要と供給の演習問題
【前・後】需要と供給の演習問題の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１１回
【授】生産と消費に関する演習
【前・後】生産と消費の演習問題の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１２回
【授】生産と消費に関する演習
【前・後】生産と消費の演習の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１３回
【授】総合演習（需要・供給，生産と消費，最適化問題）
【前・後】総合演習の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１４回
【授】総合演習（需要・供給，生産と消費，最適化問題）
【前・後】総合演習の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１５回
【授】総合演習（需要・供給，生産と消費，最適化問題）
【前・後】総合演習の予習・復習合わせて４時間学習すること。

第１６回
【授】定期試験
【前・後】小テスト問題および総合演習問題の予習・復習合わせて４時間学習すること。

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							40
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

課題に対するフィードバックの方法
４回実施する小テストを採点して，解説を行う。平均点などをその際，授業で公表してどの点に理解不足が生じたかを伝える。今後の予習・復習に参考とする。

教科書参考書

なし。資料配布。

受講に当たっての留意事項

出席を取る。5 回以上欠席すると定期試験受験資格がない。公務員試験を受験する人には受講を薦める。

学習到達目標

・数学基礎（授業項目１～２）についての理解（定期試験 10 %，確認テスト 10 %）
・経営数学（授業項目３～６）についての理解（定期試験 10 %，確認テスト 10 %）
・経営数学（授業項目７～１２）についての理解（定期試験 20 %，確認テスト 10 %）
・経営数学（授業項目１３～ 15）についての理解（定期試験 20 %，確認テスト 10 %）

JABEE

【授】: 授業内容【前・後】: 事前・事後学習